

青壮年教職員夏季合同研修会

- 1 期 日 平成29年8月2日(水)・8月3日(木)
- 2 会 場 エスポワール愛媛文教会館
- 3 参加者 149名(壮年部90名 青年部59名)
- 4 目 的 会員相互の連帯意識の高揚及び組織活動の活性化を図るとともに教職員としての資質・能力の向上に努める。
- 5 研究主題 「組織の活性化と教職員としての資質・能力の向上を求めて」
- 6 日程・内容
 - <1日目> ①講演(壮年部研修) 壮年部57名
演 題「リスクマネジメントとメンタルヘルスマネジメント」
講 師 松山市立西中学校長
 - ②合同研修 107名(壮年部 57名、青年部 50名)
開会式、問題提起(壮年部2名、青年部1名)、グループ討議
全体会、指導助言、夕食懇談
 - <2日目> 113名(壮年部 64名、青年部 49名)
①講演
演 題 「認知症サポーター講座
～学校と連携した地域づくりを目指して～」
講 師 鬼北町役場保健介護課 保健師

7 活動の様子

(参加者の感想から一部抜粋)

一日目は、「組織の活性化と教職員としての資質・能力向上を求めて」の研究主題のもと、各支部よりそれぞれの支部の実態、活動、成果や課題などについて問題提起があった。その後のグループ討議では、他支部の方と話し合う中で、共通する点、異なる点など気付くこともあり、情報交換することの大切さを感じた。

二日目は、講演「認知症サポーター講座～学校と連携した地域づくりを目指して～」を聴講した。認知症をめぐる現状と課題、学校と連携した福祉教育、認知症サポーター講座について説明していただいた。鬼北町内の小中学校で行われている認知症キッズサポーターの取組が紹介され、子どもたちが見守る側に立つという話が印象に残った。



グループ討議



2日目の講演